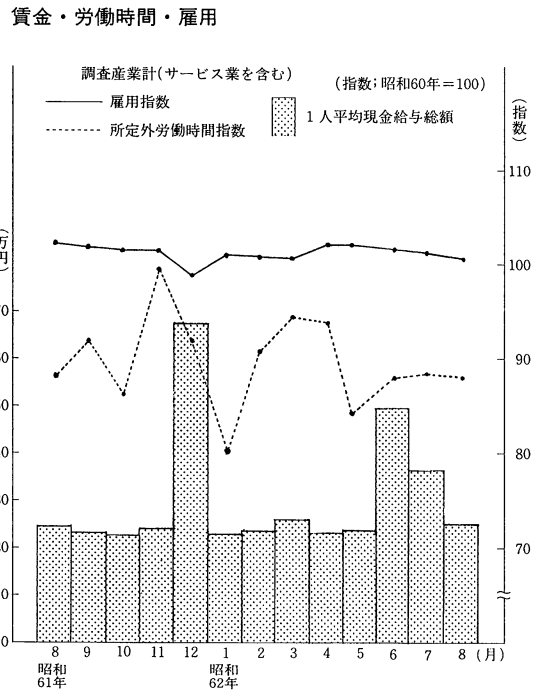
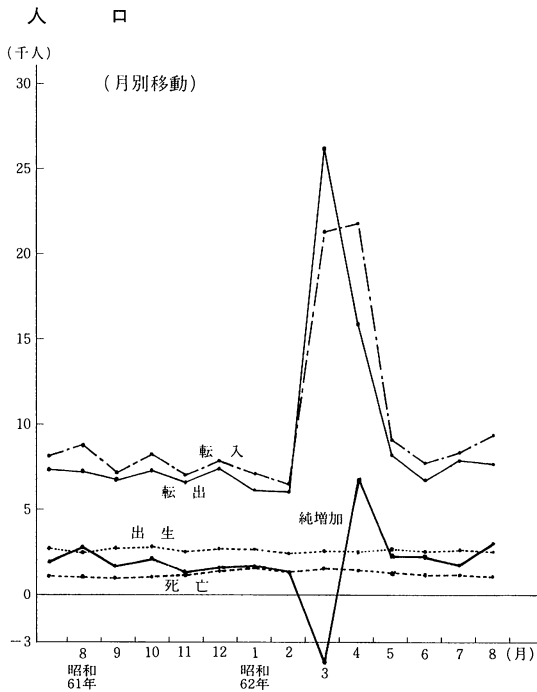
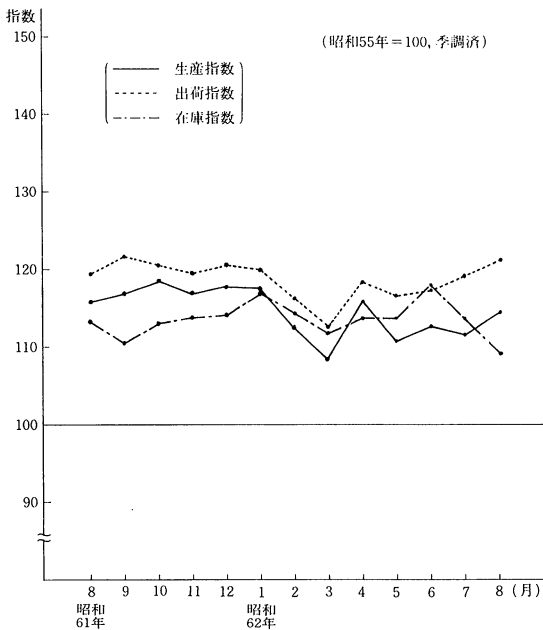


# ●今月の主な動き

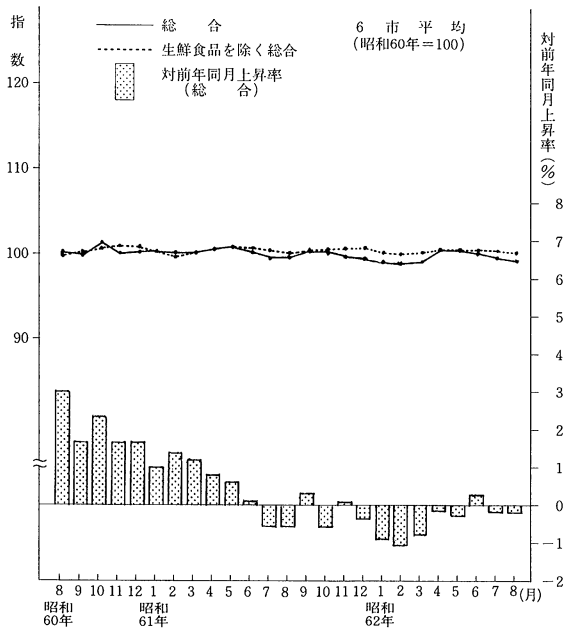
## 今月の主な動き



鉱工業指数 (生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



## 主な動きのあらまし……………企画部統計課

### ■人口(9月1日)

本県の人口は、8月中に3,144人増加し、9月1日現在で2,767,726人(男1,379,588人、女1,388,138人)となった。

内訳は、自然動態で1,449人(出生2,704人、死亡1,255人)、社会動態で1,695人(転入9,452人、転出7,757人)、それぞれ増加した。昨年9月1日現在と比較すると、数で

23,354人、率で0.85%の増加である。

市町村別では、増加が15市56町村、減少が4市15町村増減なしが2町村である。

世帯数についても、874世帯増加して、781,754世帯となった。

### ■賃金・労働時間・雇用(8月)

#### 1. 平均賃金の推移

8月の常用労働者1人1ヵ月平均現金給与総額は256,820円で前月に比べ27.9%減(前年同月比5.6%増)であった。

このうちきまって支給する給与は237,070円で前月に比べ0.9%減(前年同月比3.1%増)であり、特別に支払われた給与は19,750円で前年同月に比べ6,813円増であった。

#### 2. 労働時間

総実労働時間数は162.7時間で、前月に比べ10.7%減(前年同月比0.4%増)であった。

このうち所定内労働時間数は146.7時間で、前月に比べ11.7%減(前年同月比0.5%増)であり、所定外労働時間数は16.0時間で、前月に比べ0.7%減(前年同月比0.0%)であった。

#### 3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和60年=100)によってみると100.8で、増減率は前月に比べ0.5%減、前年同月に比べ1.6%減であった。

### ■鉱工業指数<生産・出荷・在庫>(8月)

本県における昭和62年8月の“鉱工業指数”(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が114.7、出荷が121.5、在庫が109.3で前月比は、生産が2.3%の上昇、出荷が1.5%の上昇、在庫が△3.5%の低下であった。前年同月比(原指数)は、生産が△0.9%の低下、出荷が2.0%の上昇、在庫が△3.4%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、石油・石炭製品工業、金属製品工業、一般機械工業等が上昇し、輸送機械工業、食料品・たばこ工業、精密機械工業等が低下した。出荷では、鉱業、繊維工業、一般機械工業、電気機械工業等

が上昇し、輸送機械工業、食料品・たばこ工業、精密機械工業等が低下した。在庫では、石油・石炭製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、電気機械工業等が上昇し、精密機械工業、食料品・たばこ工業、鉱業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、その他用生産財、耐久消費財等が上昇し、非耐久消費財が低下した。出荷では、資本財、耐久消費財等が上昇し、非耐久消費財、その他用生産財が低下した。在庫では、その他用生産財、耐久消費財が上昇し、資本財、非耐久消費財等が低下した。

### ■消費者物価指数(8月)

昭和62年8月の茨城県消費者物価指数は、総合で99.6(昭和60年=100)となり前月比△0.1%の下落、前年同月比△0.1%の下落となった。

今月上がった主な項目……野菜・海草7.0%(うち生鮮野菜12.4%)、他の教養娯楽1.3%(うち教養娯楽用品3.0%)

今月下がった主な項目……果物△8.1%(うち生鮮果物△8.4%)、衣料△5.2%(うち洋服△5.9%)、シャツ・下着△4.0%(うちシャツ・セータ類△5.9%)

生鮮食品(生鮮魚介、生鮮野菜、生鮮果物)を除く総合は

100.4となり、前月に比べ△0.3%の下落、前年同月に比べると0.3%の上昇となった。

#### 費目別指数

(昭和60年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	99.6	△0.1	△0.1	保健医療	102.9	0.0	1.1
食 料	97.9	0.3	△1.7	交通通信	101.1	0.0	2.8
住 居	105.1	0.1	2.5	教 育	110.1	0.0	5.3
光熱・水道	89.9	0.0	△4.3	教養娯楽	101.6	1.1	△0.3
家具・家事用品	99.0	△0.2	△0.8	諸 雑 費	103.0	△0.1	0.5
被服及び履物	97.2	△3.9	0.2	生鮮食品と除総合	100.4	△0.3	0.3